

涙はまごころのあらわれ

生者必滅

会者定離

人として死せざる者

一人もなし

この理^{ことわり}を知りながら

愛別離苦に泣く

この凡情の哀れさを

君、嗤^{わら}うことなかれ

泣いた涙で

無常をさとり

死をみつめて

生の貴さを知るからだ

泣くことは迷いでなく

涙はまごころのあらわれでもある